

2019年8月22日

「THE ROYAL EXPRESS」北海道クルーズの概要が決定！

～2020年夏、「THE ROYAL EXPRESS ～HOKKAIDO CRUISE TRAIN～」出発～

北海道旅客鉄道株式会社

東京急行電鉄株式会社

北海道旅客鉄道株式会社(以下、JR北海道)と東京急行電鉄株式会社(以下、東急電鉄)は、観光列車「THE ROYAL EXPRESS」を、2020年に「THE ROYAL EXPRESS ～HOKKAIDO CRUISE TRAIN～」(以下、本列車)として、北海道内で運行します。このたび、クルーズ概要、および列車デザインを決定しました。

運行期間は、2020年8月を予定し、札幌を出発後、十勝エリアや知床エリア、旭川・富良野エリアを列車やバスなどで巡り、札幌へ戻る3泊4日の周遊プランとなります。北海道の大自然とその恵み、大地に根ざした人々とのふれあいを通して、世界に誇る北の大地における豊かな時間の過ごし方をご提供し、お客さまを記憶に残る最高の「美しさ、煌めく 旅。」へご案内します。

また、本列車のデザインは、列車の動力となる機関車(JR北海道所有)は「北海道の力強く明るく元気な太陽の色・収穫の色」として「橙・オレンジ」を、列車内サービス用電力を供給する電源車(東急電鉄所有)は「『THE ROYAL EXPRESS』のロイヤルブルーとオレンジを粹につなぐ色」として「白・ホワイト」をメインカラーとし、北海道の自然豊かな緑の中を走る「THE ROYAL EXPRESS」のロイヤルブルーに橙、白が融合し、旅を楽しく美しく演出します。また、一部駅においても旅を彩る演出として装飾を施す予定です。なお、本列車および駅の装飾は、「THE ROYAL EXPRESS」を手掛けた水戸岡鋭治氏がデザインします。

クルーズの概要は、別紙のとおりです。



▲「THE ROYAL EXPRESS ～HOKKAIDO CRUISE TRAIN～」列車デザインイメージ(左)・駅装飾イメージ(右)

©ドーンデザイン研究所

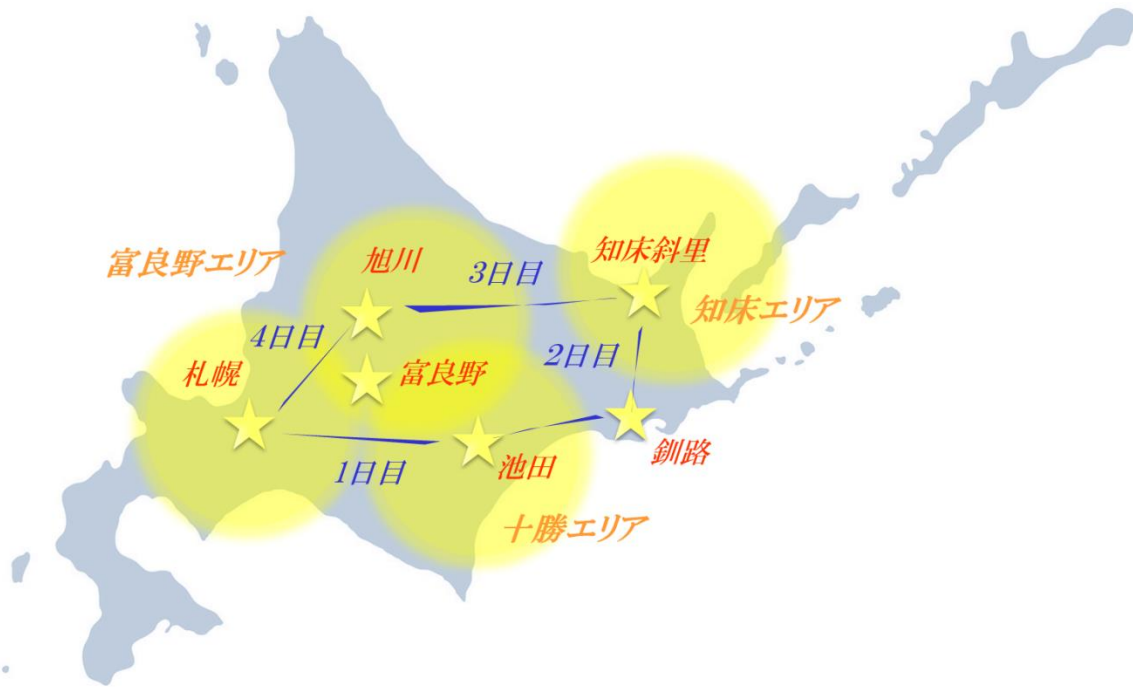
【別紙】

■クルーズの概要

- ・運行時期：2020年8月(予定)
- ・日程・回数：金曜～月曜 3泊4日(予定) ※約1ヶ月間、4回程度の催行を予定

	周遊ルート(降車駅は予定)		宿泊地
1日目	札幌	千歳線・石勝線・根室線 池田	バス 宿泊地 など 十勝エリア
2日目	宿泊地	バス 釧路 釧網線 知床斜里	バス 宿泊地 など 知床エリア
3日目	宿泊地	バス 知床斜里 釧網線・石北線 旭川 ※一部バスなど	バス 宿泊地 など 富良野エリア
4日目	宿泊地	バス 旭川 函館線 札幌	

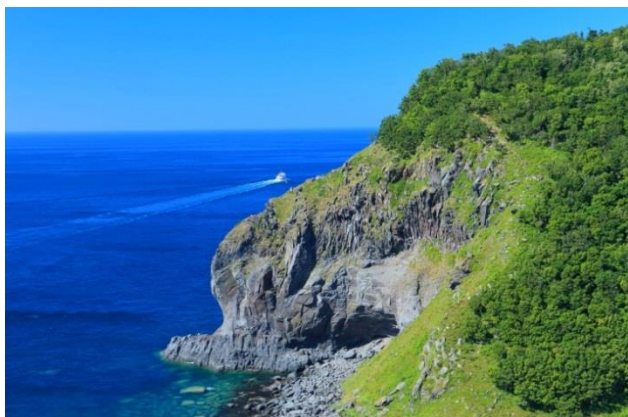
- ・発売時期：2020年2月(予定)
- ※発売日、旅行料金については決まり次第お知らせします。



▲周遊ルート(イメージ)



▲列車編成イメージ ©ドーンデザイン研究所



▲旅を彩る北海道の名所、大自然(イメージ)

(参 考)

■本プロジェクトについて

JR北海道と東急電鉄は、北海道胆振東部地震の影響を受けた北海道を応援するため、観光振興と地域活性化を目的として、本年2月に観光列車の走行プロジェクトを両社および東日本旅客鉄道株式会社(以下、JR東日本)、日本貨物鉄道株式会社(以下、JR貨物)の4社連携で立ち上げました(※)。

2020年、東急電鉄の所有する伊豆観光列車「THE ROYAL EXPRESS」を使用し、道東エリアを中心とした観光資源を体感できるコースに運行させます。鉄道事業者が連携して、観光列車を訴求力のある旅行商品に仕立てることで、北海道の観光資源の魅力発信を行います。

※JR 東日本は電源車を東急電鉄に譲渡、JR貨物は北海道内で運行する車両を北海道まで回送運搬。

■伊豆エリアにおける「THE ROYAL EXPRESS」の運行について

8両編成・定員約100名の、定員数国内最大級の観光列車で、客車、食堂車、キッチンカー、コンサート・結婚式・展示会など様々な活用が可能なマルチカーで編成されています。水戸岡鋭治氏がデザインを手がけた車両は、車両ごとにデザインが異なり、先端技術から生まれる素材や工法に、伝統的な素材や職人の技を組み合わせ、上質な空間を創り出します。これまで約9,000名弱のお客さまにご乗車いただき、そのうち約10%のお客さまに複数回ご利用いただいています。

